

# 戦争法廃止へ熱気

東京 練馬

## 1000 人行進

野党共闘隊列も

東京都練馬区で「戦争法NO! ねりま集会&パレード」(同実行委員会主催)が5日開かれ、約1000人が参加しました。昨年7月と9月に続く3回目の今回も4桁の参加者が集まり、戦争法廃止と民主主義・立憲主義復活に向けた熱気に包まれました。

戦争法廃止の合同宣伝をした区議会の超党派議員も合流し、パレードで「野党共闘隊列(ていだん)」を形成。

各党・各会派ののぼり旗がはためき、沿道の人に「反自公」の政治勢力結集をアピールしました。

集会では多彩な顔ぶ



れの区民がスピーチ。選挙を意識した発言が目立ちました。

「安保関連法に反対するママの会@東京」の丹野真由美さんは

「今年の選挙は大切。子どもの小さな手に銃を握らせたくない。『たれの子とももころさせない』という続け」と訴えました。

同実行委は広範な市民や団体が結集し、先月に区内全21駅で戦争法廃止2000万署名行動を実施。世論と運動が盛り上がるなかでの開催となりました。

SEALDs(シールド)の今村幸子さんは、デモなどへの行動参加は「日常や恋人を大切にすることと同義だ」と思う。動けば変わる。参院選に向けて伝えていきたい」と表明。アニメ映画監督の有原誠治さんと、日本キリスト教団元牧師の東海林勤さんも訴えました。

弾き語りをした後、「たい」と話しました。山崎さんは、仏教の中核は「法」にあると主張。「法に立つ私たちは、いかなる戦争、憲法9条という縛りがあつたからだ。そこをもう一度自覚し、多くの人に伝えていき

大阪府 御堂筋パレード

## 宗教者も

「宗教者は戦争法の廃止を求めます」と4日夜、宗教・宗派の違いを超えて集まった宗教者らが大阪市の御堂筋をパレードしました。

約60人の参加者は、「武力で平和は守れない」「民主主義守れ!」と書かれたプラカードを手に、「私からあなたへ、広げよう平和の輪」「みんなの力で戦争法にさようなら」とコール。大阪の繁華街を歩きました。

パレード前の集会では、日本聖公会大阪教区司祭の齊藤豊さん、浄土真宗本願寺派僧侶の山崎龍明さん(武蔵野大学名誉教授)が平和への思いを語りました。齊藤さんは「戦争を知らない子供たち」の